

特別養護老人ホームかさまグリーンハウス事業計画書

1、事業の種類

- 介護老人福祉施設（定員 50 名）
- 短期入所生活介護（定員 10 名）

2、運営方針

- (1) 施設は、入所者の意思及び人格を尊重して、常に入所者の立場に立ったサービスの提供に努めるものとする。
- (2) 入所者が可能な限り居宅における生活への復帰が出来ることを念頭に、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事等の介護、相談・援助、社会生活上の便宜の供与、その他の日常生活上の介護、機能訓練及び療養上の介護を行うものとする。
- (3) 地域や家族との結びつきを重視し、関係市町村、居宅介護支援事業者及び他の居宅サービス事業者並びにその他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者と綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

3、今年度運営目標

- ① 介護老人福祉施設 入所者延べ人員名 17,337名（稼働率95%）
- ② 短期入所生活介護（予防含む）利用者延べ人員名 3,467名（稼働率95%）

【重点目標】 「人材の確保・育成・定着」

(1) 人材確保と人材育成

- ・外国人、高齢者、障害者、無資格未経験者の受入を行う
- ・『業務見直し』を行うことで、効率化、無駄の削減、機器の活用をし、誰もが働きやすい職場環境を整える
- ・『指導マニュアル』に基づいた対応を行うことで、指導内容の改善や 個人評価、習得状況確認につなげる

(2) 業務継続計画（BCP）整備

- ・業務継続計画に沿った訓練の実施
- ・訓練からみえた課題の解決

【共通目標】

各職種に求められる知識及び技術の向上に取り組むと共に、職員一人ひとりが働きやすい職場作りに努める

【介護】

- ・一人ひとりが役割を再認識し責任を持ち業務に取り組むと共に、更なる知識及び技術の向上を目指す。
- ・他職種及び他部署と連携、情報共有を的確に行う。

【看護】

- ・医療機関と連携を強化し入所者の体調管理に努める。
- ・他部署と専門性をかけ合わせ、情報の共有を行ない、適切な治療・ケアの提供に努める。

【栄養】

- ・個々の役割を理解し業務分担が出来るよう努める。
- ・業務の進め方を常に振り返り、情報を共有し適切な業務内容に努める。

4、各種会議

会議名	回数	招集	司会	参加職種	目的
リーダー会議	月1回	施設長	生活相談員	施設長、生活相談員 副生活相談員 副主任介護職員 主任看護職員、管理栄養士	・事業進行管理確認 ・介護サービスの運営、維持 ・入所検討委員会報告 ・委員会報告 ・業務改善検討 ・課題検討 ・看護職員業務に関する検討、報告 ・給食業務に関する検討、報告
職員会議	年6回 (偶数月)	副主任 介護職員	副主任 介護職員	副主任介護職員 介護職員	・リーダー会議等の周知、伝達 ・身体拘束廃止対策の検討 ・職員の知識と技術の向上・感染症対策検討
給食会議	月1回	施設長	管理 栄養士	施設長、生活相談員 介護職員、看護職員 管理栄養士、調理員 入所者	・献立、喫食状況確認・調理、献立内容反省 ・調理員会議（食事提供確認・衛生面確認） ・給食業務に関する検討、報告 ・入所者希望の反映状況確認、報告 ・各フロアから提案される栄養・食事に関する事項
各種委員会	月1回	施設長	委員長	施設長、生活相談員 主任看護職員、各委員	・感染症対策委員会 ・安全衛生委員会 ・高齢者虐待防止委員会 ・身体拘束適正化委員会 ・安全対策委員会 ・入所検討委員会

5、事業別勉強会内容予定表

月	内 容	月	内 容
4	感染症対策基本的知識と理解について①	10	感染症対策基本的知識と理解について④
5	事故防止リスクマネジメントについて①	11	事故防止リスクマネジメントについて②
6	感染症対策基本的知識と理解について②	12	感染症対策基本的知識と理解について⑤
7	BCP 策定 防災・感染症について①	1	高齢者の尊厳について② (身体拘束・虐待・人権擁護)
8	感染症対策基本的知識と理解について③	2	感染症対策基本的知識と理解について⑥
9	高齢者の尊厳について① (身体拘束・虐待・人権擁護)	3	高齢者の尊厳について③ (身体拘束・虐待・人権擁護)

6、年間行事予定

月	年 間 行 事	月	年 間 行 事
4	桜イベント	10	芋煮会
5	青空昼食会&出張デパート	11	温泉イベント 笠間の菊祭り 災害対策シミュレーション(BCP)
6	紫陽花イベント 自衛消防訓練(総合)	12	クリスマス会&忘年会 そば打ち 餅つき
7	夕涼み花火会 災害対策シミュレーション(BCP)	1	元旦祝賀会 初詣
8	夏イベント 暑気払い	2	節分豆まき 感染症対策シミュレーション(BCP)
9	敬老祝賀会 感染症対策シミュレーション(BCP)	3	梅イベント 自衛消防訓練(総合)
<p>【その他の行事】・誕生会・生け花・書道・レク・音楽療法・料理 ※行事及びイベント開催に関しては感染状況等を鑑み、随時検討する 【大掃除】年3回 ・4月・9月・12月 【ボランティア】 尚生会ボランティア活動</p>			

認知症対応型通所介護センターかさまグリーンハウス事業計画書

1、事業の種類

- 認知症対応型通所介護 (定員 12名)
- 介護予防認知症対応型通所介護 (定員 12名)

2、運営方針

- (1) 要介護状態であり、認知症である高齢者（認知症の原因疾患が急性の状態にある者を除く。以下同じ）が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の介護及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持、向上並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることとする。
- (2) 要支援状態であり、認知症である高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の日常生活能力の維持又は向上を目指すものとする。
- (3) 事業の実施にあたっては、関係市町村、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

3、今年度運営目標

認知症対応型通所介護 利用者延べ人員 2,712名 (1日10.7名稼働率89%)

【重点目標】

(1) 人材確保と人材育成

- ・外国人、高齢者、障害者、無資格未経験者の受入を行う
- ・『業務見直し』を行うことで、効率化、無駄の削減、機器の活用をし、誰もが働きやすい職場環境を整える
- ・『指導マニュアル』に基づいた対応を行うことで、指導内容の改善や 個人評価、習得状況確認につなげる

(2) 業務継続計画（BCP）整備

- ・業務継続計画に沿った訓練の実施
- ・訓練からみえた課題の解決

【共通目標】

「その人らしさ」の生活実現へ向け、生き甲斐や社会参加の目標及び実践を促すと共に、在宅生活が継続・維持出来るよう更なる知識及び技術の向上に取り組む

4、各種会議

会議名	回数	招集	司会	参加職種	目的
職員会議	月1回	管理者	生活相談員	施設長、管理者、生活相談員 看護職員、介護職員	<ul style="list-style-type: none"> ・業務申し合わせ ・ケース検討 ・職員の知識と技術の向上 ・事業進行管理確認 ・課題検討 ・委員会報告 ・業務改善検討
各種委員会	各委員会による	施設長	委員長	施設長、生活相談員 各委員	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策委員会 ・安全衛生委員会 ・高齢者虐待防止委員会 ・身体拘束適正化委員会 ・安全対策委員会
運営推進会議	年2回	管理者	生活相談員	施設長、管理者、生活相談員 介護職員、市担当者 地区民生委員、利用者家族代表	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容報告 ・活動状況報告 ・連絡事項、意見聴取

5、事業別勉強会内容予定表

月	内 容	月	内 容
4	感染症対策基本的知識と理解について①	10	感染症対策基本的知識と理解について④ 感染症対策シミュレーション実施
5	事故防止リスクマネジメントについて①	11	BCP策定 防災・感染症について②
6	感染症対策基本的知識と理解について②	12	感染症対策基本的知識と理解について⑤ 事故防止リスクマネジメントについて②
7	BCP策定 防災・感染症について①	1	高齢者の尊厳について② (身体拘束・虐待・人権擁護)
8	感染症対策基本的知識と理解について③	2	感染症対策基本的知識と理解について⑥ 感染症対策シミュレーション実施
9	高齢者の尊厳について① (身体拘束・虐待・人権擁護)	3	高齢者の尊厳について③ (身体拘束・虐待・人権擁護)

【その他の行事】

- ・感染症対策及び災害対策シミュレーション、自衛消防訓練については特別養護老人ホームかさまグリーンハウスでの実施月に同時に行う
- ・行事及びイベント開催に関しては感染状況等を鑑み、随時検討する
- ・【大掃除】年3回 4月・9月・12月 【ボランティア】 尚生会ボランティア活動